

群馬イノベーションアワード(GIA)2019のファイナルステージが12月7日、前橋市のヤマダグリーンドーム前橋で開催される。ファイナリスト16組を紹介する。

ビジネスプラン部門 高校生の部

- 食品ロス削減アプリ「Food Map」**
前橋商業高校3年・3年
中沢千鶴、布施龍賢
- 中高生留学支援アプリの開発**
前橋女子高校2年
河野華子
- ～地元企業と高校生をつなぐお弁当～ 弁チャー**
市立太田高校3年・3年
大野愛美、小泉佑弥

ビジネスプラン部門 大学生・専門学校生の部

- 圧死から子豚を救え! ferkel save**
県立前橋高校2年
中沢 陽
- RE:Arize:精神疾患の人のための社会復帰プログラム**
中央情報経理専門学校1年
伊藤チア
- 患者さんの初診に役立つサービス [Medizin]**
群馬大学3年
松永農人
- eスポーツのための新たなスポーツジム「eGG」**
共愛学園前橋国際大学3年
ラメザニ アイティーン

ビジネスプラン部門 一般の部

- No konjac No life, 世界に広がれ! 蒟蒻革命!**
株式会社Mighty Konjac
こんにやく工房 迎しよう
遠藤春奈
- リンパ浮腫の滲出液ケア専用シート&ホルダー「とりこっとん」**
nunology
山田俊介
- Fu-Fu**
丸山法律事務所
丸山 彬

スタートアップ部門

- 親子に優しく寄り添う小児用ウィッグ**
Dream Assort
新井 舞
- オフィス・パンスク**
株式会社パンフォーユー
矢野健太
- Casper(キャスパー)で人の動きを可視化 医療現場や介護現場をサポートするAIカメラ**
株式会社ファントム
石井伸和

イノベーション部門

- 破壊的イノベーションによる「温泉ゲストハウス」の創造**
株式会社エスアールケイ
関 良則
- 親はイキイキ、社員はバリバリ 介護離職予防「ロコモバトン」**
アルケア株式会社
原田悠平
- 治療から予防の時代へヘルスケアチームとして日本一を目指すジム**
じぶんカンパニー株式会社
池田道成

活発に意見を交わした前列左から鳥越さん、田子さん(後列左から)平形さん、関さん、広瀬さん、大森さん、上毛新聞社



群馬イノベーションアワード

協賛社

トップ座談会⑥(最終回)

相模屋食料の鳥越淳司社長ら6人が「わが社の成長戦略」をテーマに、新規事業への参入や事業承継などについて意見を交わした。



- 出席者**
- 相模屋食料 鳥越淳司社長
 - 共愛学園前橋国際大 大森昭生学長
 - 三光ファーム 広瀬光昭社長
 - 上越印刷工業 関 智宏社長
 - 田子会計事務所 田子宏美代表
 - 西建 平形敦史社長

16組がプレゼン競演

GIAファイナルステージ

12月7日 12時開場 14時開幕 ヤマダグリーンドーム前橋 入場無料

せき・のりひろ 1960年、東京都生まれ。2018年11月から群馬県在住。約33年の東京の大手広告会社勤務を経て、昨年6月から現職。目下、第二の創業を旗印に、グループ企業を挙げて事業構造改革を推進中

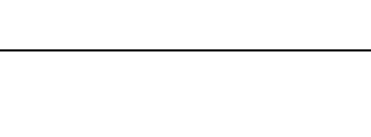
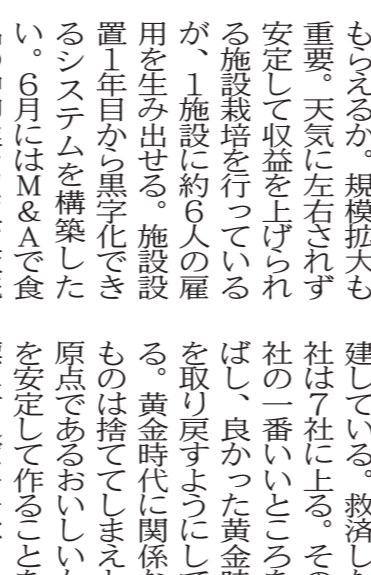
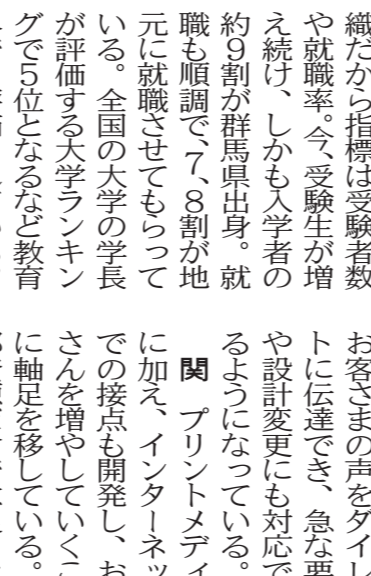
たご・ひろみ 1980年前橋市生まれ。名古屋で大手の税理士法人に勤務後、帰郷して田子会計事務所に入社。2019年6月より代表。女性経営者・創業者の支援、事業承継、コンサルティングなどに力を入れている

ひらかた・あつし 1975年、渋川市生まれ。大手物流会社、建築設計事務所を経て2003年入社。17年より現職。前橋商業高校硬式野球部出身。18年前橋商工会議所青年部緑水会代表幹事となり、現在、県商工会議所青年部連合会長

平形 昨年、創立70周年を迎えた。もともとは木製家具製造業だった社を立ち上げた。印刷の

一本足から脱する第二の創業を始めたばかりだ。大森 20年ほど前、受験生が定員を超す時期があった。問題点の一つは全国から学生を呼び込むこと、地域のことを忘れていたこと。もう一つは学生の力を伸ばす取り組みが不十分だったこと。現在は地域の学生を預かり、地域に居ることを使命に「群馬の人材を育てる」ことに注力している。教育改革も進め、アクティブラーニングを推進したことで、卒業生の9割が力が付いたと感じるようになった。自分たちの使命をしっかりと再認識した結果だ。

鳥越 業界の再生に全国を飛び回っている。千



経営資源転換に軸 関

若手経営者を支援 田子

現場と顧客が第一 平形

新事業を積極推進

経営強化

鳥越 豆腐、油揚げ、厚揚げを製造している。市場は縮小し続け、全国で勝負すれば、一人勝ちできる。10分の1以下に減っている。「伝統食品だから仕方ない」と言われるが、チャンスと思わなければ

業界の再生に尽力 鳥越



とリニエじゅんじ 1973年、京都市生まれ。96年、雪印乳業に入社。相模屋食料の江原寛一社長の娘との結婚を機に退職。2002年に同社に入社。07年から現職。ザクとうふなどのヒット商品を手掛ける

大学の使命再確認 大森



おもり・あきお 1968年、仙台市生まれ。大学院博士後期課程在学中、96年に共愛学園に入職。前橋国際大副学長などを経て2016年から現職。全国の学長が注目する学長ランキング3位(大学ランキング2019)

農業の魅力伝える 広瀬



ひろせ・みつあき 1977年、石川県生まれ。高崎市育ち。不動産業を経て2016年、耕作放棄地の解消と地産地消の推進を目指し農業に参入。農地を引き受け、コメや野菜を生産する約50畝を管理。県内外へ販路を拡大している

現場と顧客が第一 平形

現場と顧客が第一 平形

ど、ようやく先が見えてきた。大森 学校は非営利組織だから指標は受験者数や就職率。今受験生が増え続け、しかも入学者の約9割が群馬県出身。就職も順調で、7割が地元就職させてもらっている。全国の大学の学長が評価する大学ランキングで5位となるなど、教育界でも評価されている。平形 昨年、創立70周年を迎えた。もともとは木製家具製造業だった社を立ち上げた。印刷の

現場と顧客が第一 平形

て施工できる体制が強い。多くの従業員を抱えているのはリスクもあるが、お客さまの声をダイレクトに伝達でき、急な要望や設計変更にも対応できるようにしている。関 プリントメディアに加え、インターネットでの接点も開発し、お客さんの足を伸ばしている。内容部資源だけでは足りない。6月にはM&Aで食品の卸業を買収、販売の確保も進めている。田子 税理士業界も高齢化が進み、低価格競争にもさらされている。数

現場と顧客が第一 平形

字という内部的なものはクラウド会計やAI(人工知能)を活用し効率化を進める。一方で数字の奥にあるものや先にあるものを実現するために、お客さまとのコミュニケーションが重要になる。県内にはビジネスで活躍する女性が少ない、女性の経営支援をサポートしたい。他に事業承継若手をターゲットに、事業展開していきたい。

現場と顧客が第一 平形

平形 ここ数年はエンドユーザーを対象とし、店舗内装、住宅リフォームをデザインから施工までを一貫して請け負うウツドフェイェス事業部、住宅の外構工事をデザインから施工まで請け負う庭夢師部門の営業を強化し、幅広く多くのお客さまに製品や工事を提供できるように努めている。

現場と顧客が第一 平形

鳥越 業界の再生に全国を飛び回っている。千

現場と顧客が第一 平形

現場と顧客が第一 平形

現場と顧客が第一 平形